

提案仕様書

本仕様書は、福岡市（以下、本市という）の「福岡介護DX-NEXT」モデル事業所創出業務委託に係る各種事業の企画提案競技に関し、企画提案に必要な仕様を定めるものである。企画提案競技最優秀提案者との委託契約を締結する際は、本市と受注者が協議のうえ、契約書の仕様を定めることとする。

1 契約件名

「福岡介護DX-NEXT」モデル事業所創出業務委託

2 履行場所

福祉局高齢社会部高齢社会政策課 ほか

3 履行期間

契約締結日から令和8年3月31日まで

4 事業の目的とポイント

- ・福岡市内に、DXの手本となり目標となるようなモデル介護事業所を育成し、課題解決型・未来志向型の新しい介護サービスのあり方を実現する。
- ・市内全ての介護事業所のDX推進に資する取り組みとする。
- ・国内外からの注目を集めることも重要。

5 事業概要について

- ・福岡市内に、1事業所以上の「福岡介護DX-NEXT」モデル事業所を創出。
- ・伴走支援、DX人材育成、DX機器導入、成果等のPRを、包括的に実施。

6 事業内容について

(1) 最先端モデル（福岡介護DX-NEXT）の提案

「福岡介護DX-NEXT」モデル（案）を提案すること。なお、福岡市の特性を踏まえ、それを活かしたものとすること。

★「福岡介護DX-NEXT」モデルで必ず考慮しなければならない視点

- ①他に例を見ないような固有のモデルであること
- ②AIやIoT等を組み合わせた具体的な業務やケアの最適化が図られること
- ③利用者と職員、経営者の満足度がそれぞれ向上すること
- ④行政とも連携し、視察やDX研究に加え他の介護事業所の育成等にも協力できる拠点としての役割を果たせること

★最低限以下の要素については記載すること

- ① 福岡市の介護業界が介護DXに取り組むメリットとは
- ② 「福岡介護DX-NEXT」モデルとして導入すべき機器やシステムとは
- ③ 本事業が福岡市内の介護事業所にもたらす具体的な変化とは
- ④ 国内外に誇れるモデルとするために最も重要なことは何か

(2) 「福岡介護DX-NEXT」モデル育成の道筋の提案

①育成のステップ

短期・中期・長期の段階的なロードマップを明示し、DX導入計画を提案すること。

最終的なあり方（「福岡介護DX-NEXT」）に対し、令和7年度に、どのような育成できるか、明確に提示すること。

②自走支援

介護事業所が自走的にDXを推進していくための仕組みの構築方法を提案すること。

③「福岡介護DX-NEXT」モデルのオーソライズ方法

例えば市内の介護関係者を集めた場を設置し検討したり意見を集約したりするなど、モデル事業所の認定基準や評価指標等を多くの市内介護事業所等が認め、納得し受け入れられるものとする方法について提案すること

(3) 具体的な支援内容

①伴走型支援の内容（計画・実行・改善等のプロセス）を具体的に提案すること

②DX人材育成の方法（研修・OJT・リーダー育成等）を提案すること

③機器導入支援の内容（選定・設置・運用等）を提案すること

④専門家や企業などとの連携体制の構築方法を提案すること

(4) 発信・広報戦略

・「福岡介護DX-NEXT」育成の取組を伝える効果的な広報について提案すること

・成果を他の事業所の具体的な取り組みにつなげる工夫について提案すること

7 その他提案内容

(1) 関連実績や事業実施体制

(2) スケジュール案

(3) 令和7年度の成果目標

(4) 予算内訳

(5) 考えられるリスクとその対応策

8 支払い

後払いとする。

9 成果物

下記をまとめた報告書1部及びデータ（Word、Excel、PowerPoint等）を収録した記録媒体

(1) 議事録や関係者の連絡先等を整理したもの

(2) 取組内容や結果をとりまとめたもの

(3) 事業の今後の展望に関する所見（事業の中で見えた課題を踏まえたもの）

10 その他

その他の事項としては、下記のとおりとする。

(1) 本件委託業務の実施にあたっては福岡市に随時報告し、必要に応じて適宜協議するとともに本市担当者の指示に従うこと。また、業務遂行上の疑義が生じた場合は、本市担当者と協議の上で決定すること。

- (2) 本事業の実施にあたっては、福岡市個人情報保護条例第15条および別紙「個人情報・情報資産取扱特事項」を遵守すること。
- (3) 作成した資料・データの著作権は、すべて福岡市に帰属するものとする。
- (4) 福岡市契約事務規則に定める各種様式（業務遂行責任者届・完了届・受渡書など）を適宜提出すること。